



余暇を楽しむ インドア、アウトドア研究

発表者：パイオニア(株) 土屋 亮介
フリーライター 松森 果林

1

余暇のUD主査を務めておりますパイオニアの土屋です。

余暇のUDの活動につきまして、活動全般のご紹介とインドア部のご紹介を私から。アウトドアのご紹介を松森さんからさせていただきます。

研究目標



「うれしい、楽しい、面白い」をテーマに、余暇生活が充実する社会づくりを目標に活動中。



ハードだけでなく、コンテンツ、サービスなどソフトにも注目！
生活、行動調査、分析を中心に活動を行っている

2

余暇のUDプロジェクトでは、活動スタートより、「うれしい」「楽しい」「面白い」をテーマに、活動してまいりました。

活動にあたっては、ハードウェアだけでなく、コンテンツやサービスといったソフト面にも着目し、調査・分析を行ってまいりました。

活動風景

他PJとの
合同会合



有識者セミナー



メンバー間の
懇親も重要
なテーマ！

配慮施設見学



3

本年度もさまざまな活動を進めてきました。

月一回定期会合を行い、今年は初めて他プロジェクトとの共同開催も行いました。

また、有識者のお話を何回かお伺いしたり、打ち合わせばかりでなく、実際外に出て施設の見学も行いました。

そして、せっかく異業種の方々が集まっているので、メンバー間の懇親も重要なテーマとして、懇親会も積極的に行いました。

このように余暇がテーマですので、楽しく活動しております。

参画メンバー



インドア・チーム

主査 パイオニア(株) 土屋 亮介
ヤマハ(株) 田中 伸政
(株)リコー 下郷 雅子
富士写真フイルム(株) 磯村 歩
(株)ソニー 飯泉 規子
セイコーエプソン(株) 川部 源太

アウトドア・チーム

(株)岡村製作所 沼 直樹 **副主査**
キヤノン(株) 岡 雄三
(株)日立製作所 久保田 太栄
(株)UDジャパン 内山 早苗
大日本印刷(株) 古田 晴子
フリーライター 松森 果林
(株)乃村工藝社 児島 正剛

4

今ご覧いただいているのが、余暇のメンバーです。
現在13名で、インドア、アウトドアの2チームに分かれて活動しております。



インドア・チームの活動

Activities of indoor team

それではまずインドアチームの活動をご紹介します。



● 基本テーマ

誰もが楽しめるホームシアター

04年度活動

テレビにおける課題の調査・
分析と研究テーマの抽出



05年度活動

テレビ字幕の現状研究と
改善提案

インドアチームの基本テーマは、

「誰もが楽しめるホームシアター」です。

家の中での余暇の主役はやはりテレビです。

しかし近年テレビも難しくなってきました。

そこで04年は、テレビおよびその周辺の機器が、誰もが楽しめるために課題は何か？ということに着目して活動してまいりました。

そして今年度はその中でも「字幕」というものに着目して課題抽出および改善案の検討を行ってまいりました。

では、なぜいろいろなテーマの中で「字幕」に着目したかといいますと、

なぜ字幕へ注目したか？

今まで「字幕放送」といえば・・・

専用デコーダーか専用テレビが必要

どこで売っているの？



難しそう・・・

でもこれからの地上デジタルでは

すべてのテレビで視聴が可能

知らなかった



しかし、まだ認知不足・・・

どうやって使うの？

活動目標 「字幕放送」をもっと有効利用できないか？

字幕放送を研究し、認知拡大と新しい提案を行う

7

今までも「字幕放送」というものはありました。

しかし、この機能を楽しむためには専用デコーダーや専用テレビが必要でした。これらはどこでも簡単に手に入るものではありませんし、どうやって接続するのも分かりにくいものでした。したがって一般の方々にはなじみの薄い機能だったと思います。

しかし、昨年末の地上デジタル放送の本放送開始により、デジタル放送を受信できる環境であれば「字幕放送」を楽しむことができるようになりました。

しかしまだまだご存知ない方が大多数です。

そこでせっかくの字幕放送ですので、もっともっと認知拡大を行い、耳の不自由な方だけでなく、一般の方にとっても楽しめる「字幕」のあり方を目指して活動することにいたしました。

研究活動の経緯

字幕の現状分析

- 字幕番組はどのくらいある？
- そもそもどうやって見られる？
- もっと見やすくできない？

字幕の制作現場

- 字幕どのように作られている？
- 生放送の時はどうやっている？
- 今後増えていくの？

課題の抽出と制作過程の学習

8

活動にあたっては、まず「字幕を知る」ということで、字幕放送の現状を調べ、分析を行うことと、字幕とは実際どのように作られているのかを勉強いたしました。

具体的活動事例①



なにはともあれ、

どのくらい「字幕番組」があるか調べてみた

新聞、雑誌、ネットの番組サイトを手分けして調査

色んな気づきがあった

ドラマは多いね

ニュースは少ない

午前はあまりないね

9

なにはともあれ、まず字幕放送がどのくらい放送されているのか調べました。

調査方法は、メンバーで手分けして、テレビの番組欄、テレビ番組情報誌、インターネットで数週間分を持ち寄り、皆で気づいた点を話し合いました。

その結果、いろいろな気づきが発見されました。

具体的活動事例②



字幕制作現場の声を聞く

◀ (株)日本文字放送の丸山氏
よりNHKの字幕放送作成の
お話を伺う

▶ (株)日本テレビビデオの林氏
より民放の字幕放送作成
のお話を伺う



10

そして次は、実際に字幕放送はどのように作られていて、現場ではどのような苦労があるのかを、実際に字幕制作に携わる方においでいただき、お話を伺いました。

字幕作成については知らなかったことばかりでした。また、現場の苦労については想像以上で、今後改善提案をしていく上でこのような知識がないと、単なる夢物語に終わってしまうことを、改めて認識させられました。

研究成果

冊子作成

目的

- 字幕放送の認知拡大
- 字幕の新たな可能性を探る
- 字幕改善への提案



本成果報告会で冊子サンプルを展示中

このようなさまざまな活動につきましては、今期冊子としてまとめました。

この冊子をまとめた目的としましては、

字幕放送の認知拡大

字幕利用の新しい可能性を探る

字幕改善への我々の提案

といったことがあげられます。

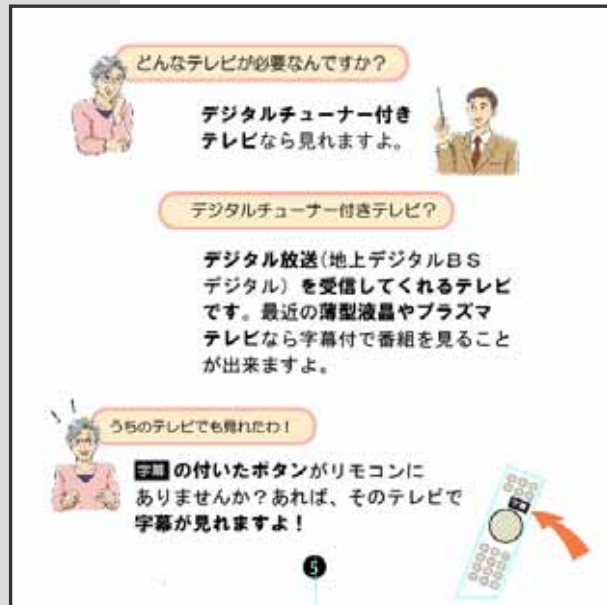
本日余暇の展示コーナーに展示してありますので、ぜひご覧下さい。

それでは、この冊子の紹介を簡単にさせていただきます。

冊子の内容紹介 ①

Point

現在、放送されている
字幕放送の基礎知識
をわかりやすく解説



12

まず、認知拡大ということで、
現在放送されている字幕放送の基礎知識を分かりやすく解説しました。

冊子の内容紹介 ②

Point

なかなか知ることの
できない字幕制作の
現場を紹介



13

そして、なかなか知ることのできない字幕制作の現場についても紹介しています。

冊子の内容紹介 ③

Point

今後の字幕放送の
あり方を提案する



14

また、今後字幕はこうあったらいいな、という提案もさせていただきました。

06年度の活動予定

さまざまな方への
インタビュー

課題解決策の
研究

新しい提案を盛り
込んだ冊子作成



より具体的な利用
シーンの提案を行う

15

最後に今後の活動ですが、06年度は、

現在字幕を利用しているさまざまな方へのインタビューをとおり、
課題解決の研究を行っていきます。

そしてその結果を冊子としてまとめ、より具体的な利用シーンを提案し
ていきたいと思えます。

では続きまして、アウトドアの取り組みについて松森より発表してもら
います。



余暇のUDプロジェクトの松森です。
アウトドア・チームの活動についてご紹介します。



旅を楽しめる駅

待合いスペースを目指して



17

アウトドア・チームは、旅を楽しめる駅、駅の待合いスペースを中心に、研究活動を進めています。

これからご紹介する内容は、活動経緯、アプローチの視点、駅の調査、利用者の不便さ、分析、基本コンセプト、アイデア例、そして今後の課題です。

旅...



暮らしの中で、駅は身近な通過点

18

旅、皆さんも余暇に旅をして楽しむことがあることでしょう。
旅の途中では、鉄道を使い、駅を利用します。
暮らしの中でも、駅はとても身近な目的地への通過点といえるでしょう。

研究活動の経緯

04年度の活動

- 駅の現状調査
- 分析と提案のたたき台



05年度の活動

- 駅に集う人の実態調査
- コンセプトとアイデアの見直し



19

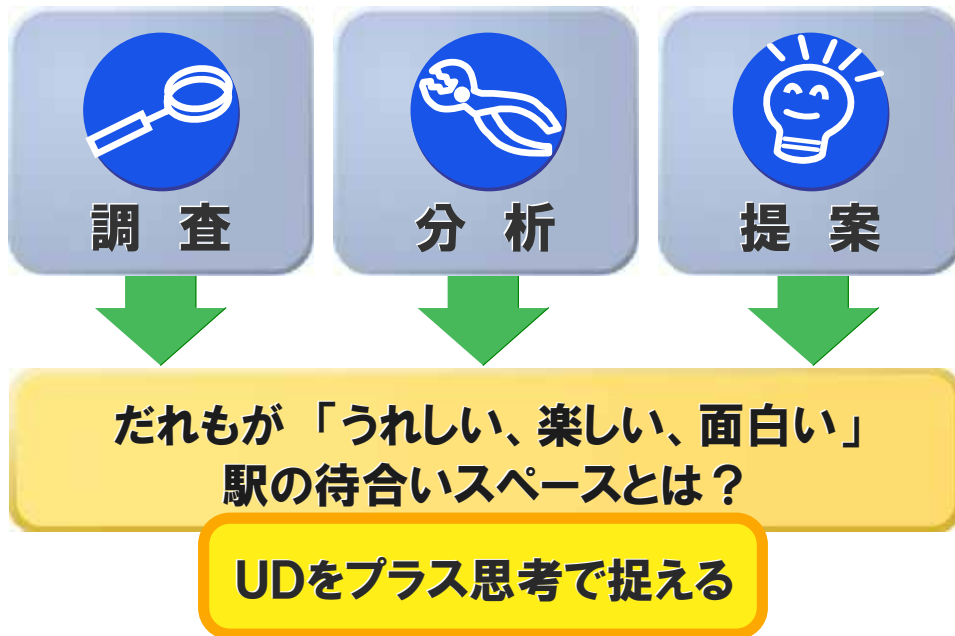
これまでの活動ですが、04年度は駅の調査を中心に現状把握と分析、提案のたたき台を作ってきました。

提案は冊子としてまとめました。

05年度は、調査の視点をメンバーで共有し、駅に集う人を観察したり、困っている人へのヒアリングを行いました。

そして、コンセプトと、アイデアの見直しをしてきました。

アプローチの視点



20

アプローチの視点ですが、私たちが調査や分析、提案をする上で、共通して持つようにした視点があります。

それは、このプロジェクトのキーワードである「うれしい、楽しい、面白い」駅の待合スペースとはどんなものか？

つまり「UDをプラス思考で捉えていく」という考え方です。

駅の調査:視点



そこで、ゆとり、楽しさ、美しさ、分かり易さ、さりげなさ、使い易さ、という感性面を中心に利用者の視点で駅周辺や施設を調査してきました。

駅の調査: 事例

ホームの空間をうまく
利用した待合室



たとえばこの写真の事例は、ホームの両端の空間を利用した駅の待合室で、さりげなく、おしゃれなベンチもあります。ゆとりも感じられ、外からは区切られた部屋になっているので冬は寒さをしのげます。実はテーマパークの駅なのですが、楽しい感じがしませんか？

駅の調査: 事例

改札内 壁面の石アート



次に、この写真は、改札内の壁面にさまざまな石を使ったモニュメントが装飾されています。これらの形は七福神を表しているそうです。形としても、非常にユニークでかわいいし、色々な石の素材を使っているので、それぞれちがった感触があり、角は丸みをもたせてあるので触っても痛くない。こんなモニュメントがあると、待ち合わせも楽しくなりそうですね。

駅の調査：事例集の作成

「うれしい、楽しい、面白い」駅の事例集



no

このように、私たちは、こうしたさまざまな駅や施設を調査して、「うれしい、楽しい、面白い」駅の事例集という冊子としてまとめました。この事例集では、駅を中心に約60の事例をとりあげ、そのポイントや感性的な評価を記載しています。ここでの事例がみんな良いという訳ではありませんが、駅作りの関係者の人たちに、ぜひ参考にして欲しいという願いをこめて作りました。

人の調査：観察やヒアリングから

わかりやすい
目印が欲しい…



階段は大変だし、
休みたい…



25

こうした駅の設備などの調査の一方で、人の調査として観察やヒアリングをおこなってきました。

駅を利用している人はさまざまです。どういう人たちが、どんなふう困っているのでしょうか。

たとえば、目が不自由な方には、よく使う駅以外は待ち合わせ場所がわかりにくいという声を聞きます。

皆さんもわかりやすい目印が欲しいと思ったことはありませんか？

また、荷物がたくさんあると階段は大変ですし、ちょっと休みたいですよね？

人の調査：観察やヒアリングから

改札や売店が
つらいなあ…



なんだか
不安だわ…



構内放送が
聞こえない

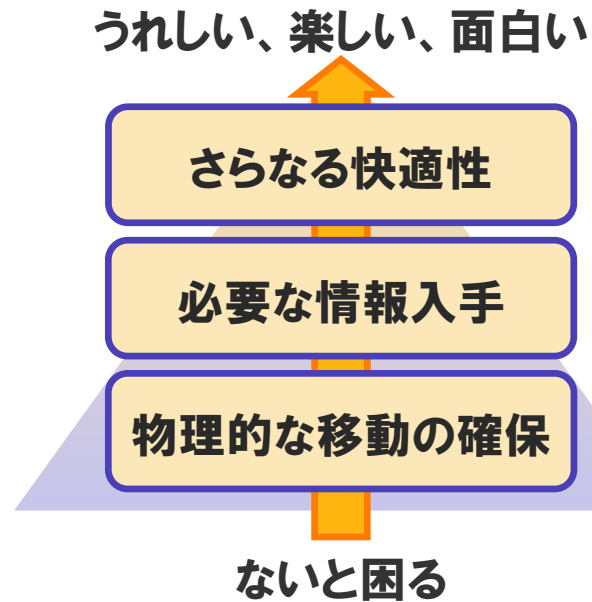
26

このイラストは小さなお子さん連れのお父さん。子供や荷物をかかえていると両手がふさがるので、改札を通るのも一苦労。子供が売店に行っても、レジの位置が高くてひとりでは買えない事もあります。

また、耳が不自由な人には、構内放送が聞こえません。電車の遅れや事故の情報が、わからないんですよね。電光表示板は増えていますが、タイムリーな情報はないため、不安になります。

このように皆さんも駅を利用しているときに困ったことがあるのではないのでしょうか。

待合スペースの要素分析



27

そこで、駅の待合スペースに、どのような条件が必要なのかを考えてみました。

一つ目は物理的な移動手段の確保。つまり、ひとりでも移動できるのは、基本的なことといえるでしょう。

二つ目は、必要な情報を必要な時に簡単に得られること。

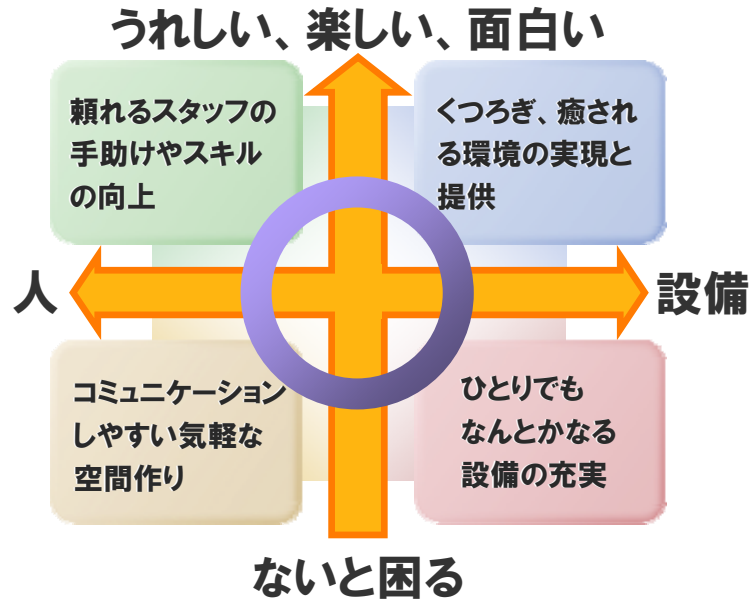
そして三つ目として、さらなる快適性。

つまり「ないと困る」基本的なことから、「うれしい、楽しい、面白い」を目指すこと。

こういった段階的な条件が必要と考えます。

待合スペースの要素分析

人と設備を組み合わせた柔軟な対応を



28

そして、さらにこれらの条件を、設備と人の面から、どうあるべきか分析してみました。

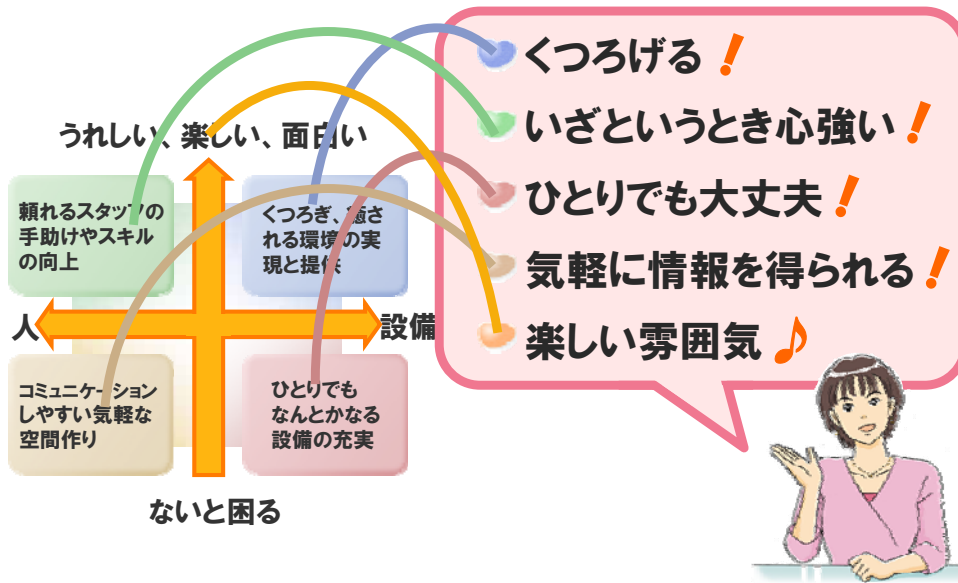
たとえば、設備面では、多少苦勞しても、ひとりでなんとかなる設備の充実が必要です。さらに快適にすごせるくつろぎや癒される環境の提供が望まれます。

人の面では、コミュニケーションしやすい気軽な空間作りが必要でしょう。さらに快適であるには、頼れるスタッフがいて、コミュニケーションや手助けするスキルをもっている人がいたら安心ですね。

そして、ここが重要だと思うのですが、設備だけ、人だけで解決しようとするのではなく、人と設備を組み合わせ、暮らしの中の利用シーンによって、柔軟に対応していくことが大切だと思います。

基本コンセプト

駅ではこんな風にすごせるといいな



このような分析を経て、駅ではこんなふうによろせるといいな、という基本コンセプトを5つ作成しました。

1. くつろげること。
2. いざというときに心強いこと。
3. ひとりでも大丈夫。
4. 気軽に情報を得られる。
5. 楽しい雰囲気がある。

このコンセプトをもとに、こうあって欲しいというアイデアイメージを膨らませていきました。

アイデア例

五感で彩る待合いスペース

ポイント

- 言葉で伝えやすい
- 楽しい雰囲気
- 香りの目印、癒し



一つ目のアイデアは、五感で彩る待合いスペース。

たとえばレモンをテーマにして、黄色いカラーやレモンのモニュメントで空間を彩れば、分かりやすく、人にも場所を伝えやすいです。香り発生器を使って、レモンの香りを発生させることもできます。

ここではレモンですが、待合所ごとにデザインや香りを変えれば、楽しくつろげて、目の不自由な人にも目印として役立つかも知れませんね。

アイデア例

楽しいうれしいベンチ

ポイント

- ちょい掛け、省スペース
- 楽しさの演出
- 音による空席の目印



次のアイデアは、楽しいうれしいベンチ。

ベンチの構造が、五線譜をイメージしたポールでできていて、ひとつひとつのシートは音符の形をしたかわいいメロディベンチはいかがでしょうか。気軽に座れて省スペースです。

それぞれのシートから出るメロディは音階が異なり、合わさるとハーモニーが奏でられます。座るとそのシートの音は止むようになっており、目の不自由な人にも空いているシートがわかるかも知れませんね。

アイデア例

頼りになるインフォメーション

ポイント

- らくらくアプローチ
- くるくる筆談器
- 情報通なスタッフ



次のアイデアは、頼りになるインフォメーションカウンターです。

子供や車いすの人でもアプローチしやすい高さを選べるカウンターの構造。

文字でコミュニケーションできる筆談機は、ボードが丸く、書いたら中華テーブルのようにくるっと回せるようになっているので、スタッフとの対面でのやりとりも確実に便利です。

また、スタッフは周辺地域のアクセスに詳しく、目的地までの、その時間帯、その人の状態に合ったアクセスマップをその場で作成してくれます。車いすとかベビーカーを使う人もこれで安心です。

こんなふうに誰にとっても、気軽にコミュニケーションできる場所があるといいですね。

その他のアイデア例

らくらく改札



ポイント

- 切符を取り出さなくても通れる
- 開放的でゆったりした通路

あったらいいな、こんな売店



ポイント

- 子供も買いやすいローカウンター
- レジを助ける伸び伸びアーム

34

他にもアイデアとして、両手がふさがっていても切符を取り出さなくても通れる開放的でゆったりした改札。

ホームの売店では、子供も買いやすいローカウンターがあったり、伸び縮みするアームにより、アプローチしにくい車いすの人にも楽にお釣りを渡せるといったちょっとした工夫など、人と設備との連携で、快適に利用できたらいいですね。

今後の活動に向けて

生活者や事業者
との意見交換

アイデアの充実化、
コンセプトBOOK作成

新しいテーマへの
取り組み



35

最後に、今後の活動ですが、こうした考えを生活者や交通事業者と意見を出し合い、暮らしに根付くUDを実現させていきたいです。

そのために、イメージをつかんでもらうためのアイデアの充実化や、コンセプトブックを作成する予定です。

また、今後は新しいテーマにも取り組んでいきたいと考えています。

余暇のUDプロジェクト



ご清聴 ありがとうございます



36

以上で、余暇のUDプロジェクトの発表を終わります。